

オーストラリアの姉妹校との Web 会議までの活動

Welcome to Jinsekikogen Junior High School .
(NEW CROWN English Series 3 Project 2 国際交流イベントに出展しよう)

①話・発 ②協・遠 ③タブ ③Web カメラ ④Zoom

【ここがポイント！】

「Welcome to Jinsekikogen Junior High School ~Web 会議で日本文化を紹介しよう~」という単元を設定する。

オーストラリアのバンダバーグ・クリスチャン・カレッジ校の8年生に対して、各グループが決めたテーマで日本文化等を紹介するプレゼンテーションを実施する。

Web 会議で実際にやりとりする際に、どのようにしたら相手に効果的に伝わるかを各グループで考えて、発表する。

【実践の目標】

自分で目標を立てたり仲間と協力したりしてコミュニケーション活動や発表練習に取り組むことができる。正しい語順や語法を用いて、日本文化について相手に分かりやすく説明することができる。

【実際の場面】

①パフォーマンス課題を提示する

生徒が主体的に学習に取り組もうとする態度を育成するため、パフォーマンス課題として上記の課題を提示し、発表するテーマを検討・決定した。

②日本文化等について、内容にまとまりのある紹介文を書く

日本文化等についての紹介文のモデル原稿を確認することで、その構成や原稿の書き方のコツをつかんだ後に英文作成をした。



③プレゼンテーションソフトで視覚資料を作成する

作成した紹介文に関連する視覚に訴える資料を作成した。プレゼンテーションソフトの資料に付け加えて、実物を準備して活用するグループもあった。

④グループ内で原稿等の交流をする

個人で原稿・視覚資料を作成した後に、グループ内で互いの原稿や視覚資料を推敲した。説明文ばかりになっているグループはクイズ形式を取り入れて、相互にやりとりができるように修正した。

⑤プレゼンテーションの発表練習をする

ALT や JTE に対して、グループでの発表練習を行い、声量・発音・スピード・プレゼンテーションソフトや実物の提示の仕方について良い点・改善点を把握した。

⑥自己・他者評価を基に再度練習を行い、発表の修正・改善を図る

作成したプレゼンテーション等を用いて発表リハーサルを行い、他者の発表から良さを吸収したり自分達で発表を修正・改善したりする場面を設定した。

【成果と課題】

【成果】

○ICT を用いた Web 会議という活動を設定したことで、姉妹校の生徒達とお互いの顔を見ながら実際に英語でコミュニケーションを取れて、生きた英語に触れることができ、国際感覚の育成やコミュニケーション能力の向上に繋がった。

○画面上を通して、英語を用いた簡単なやりとりができたり、既習事項を用いた表現を実際に使ったりすることができた。

【課題】

○原稿作成・英語での発表練習よりもプレゼンテーションソフトでの資料づくりに時間をかけたグループがあった。活動の主な目的・本単元の評価規準の周知がさらに必要である。

神石高原町立神石高原中学校

